
三つの世界

類架

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

三つの世界

【コード】

N6512R

【作者名】

類架

【あらすじ】

空想の国の少女と、地球のお金持ち少女と、ちょっと難しいお家の少年の、思い。

(前書き)

途中です(@|@;)
 初めて小説かいたので変だったらごめんなさい > | (<

「鈴風」

着物姿で縁側に座って空を見ていた少女は、返事はせずに振り返った。

そこには少女の祖父らしき老人が、黒い水晶玉を持って立っている。

「鈴風、今そこで葉月さんに、人界が見れる水晶をもらった。・・・いるか??」

少女はまた黙って受け取った。葉月、なんて人は知らなかったが、平和すぎるこの天界では、ドラマやゲーム、漫画や生活までも平和なので、いろいろな困難がある人界を見たかったのだ。

少女は、真つ黒な水晶を見つめて、寝転がった。

「美帆ちゃん」

淡いピンクのレースが付いたベッドの上でケータイをいじっている少女は、手を止めずに自分だけに聞こえるような声で、なに、とつぶやいた。

その返事は聞こえなかっただろうが、金をふんだんに使ったドアを開けて入ってきたのは、彼女の母親であり、名の知れた会社の社長夫人でもある。

そして早口で、

「お母様今からショッピングに行こうと思ってるんだけど、美帆ちゃん欲しいものなあい??なんでもいいのよ??」

と、あまつたるい声でいった。

少女は、やはりケータイを見つめながらつぶやく。

「服がたりないの。あと最低20着はあるわ。ドレスも欲しいから、エメラルド、ダイア、パールの付いたやつをかってきて。お腹もすいたから、パリのチョコレートが食べたいわ。」

一般の母親が聞くと絶句するような注文をいつてのけた少女は、母親がさらさらと紙に今言った注文をメモする音を聞いてから、ちらりと母に目をやった。

光が完全に消えているあの目は、自分そっくりだった。

「じゃあ、お父様にいつとくわね。まってるちょうだいねえ??」

母親は彼女の返事を待たずして、ドアを閉めた。

静かになった部屋で、少女はつぶやいて、ケータイを投げる。

「無駄遣い」

「おい」

隙間風がびゅうびゅう吹き込んでいる小さな家の中で、突き刺すような声がした。

無造作に束ねられた髪をゆらして、だまって少年は振り返り相手を見つめる。

目の前にいるこの廃れて骨ばった女は、皮肉にも自分の母親なのか。そう考えただけでむしずがはしる。

「今日は彼氏来るから帰ってくんな。」

彼女の吸っていたタバコから、ぱらぱらと吸い殻が落ちて風に飛ばされていく。しかし、それはすぐに壁の隙間から外へとんでいった。小年は晃と違って、今年で中学生になり、学校には行っていない、が、内職はしている。

彼にはいつも行く公園があった。狭くて汚いので、人が来なくていいのだ。

帰ってくるなと言われた日にはいつも、プラスチックで出来たキノコ形の家の中で、内職をして時間をつぶしつつ、朝を待つ。

暗い空に向かって思う。

本当に空が青いのは夜だ。と。

母の帰ってくる音がする。しかし、部屋に入ってきたのはスーツの男女数人で、母の姿はない。彼らは無言で服を

(後書き)

続きます(^^)

待っててくれたら幸いです!(^^)!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6512r/>

三つの世界

2011年10月8日18時16分発行